

三ヶ根駅周辺を良くするために自分たちにできることは？



三ヶ根駅未来会議

現在の三ヶ根駅はバリアフリー化されていない、無人駅になっている。4〜5年後を目途にエレベーター設置及び、駅の改修が予定されている。ただ駅を改修するのではなく、駅周辺が住民を主体としたまちづくり駅周辺のまちづくりについて幸田町民や駅の利用者などあまねく人々の意見を集めるべく、町民参加型の集まり「三ヶ根駅未来会議」を設けており、第2回が9月25日に里中央コミュニティホームで開催された。



第2回未来会議(夜の部)において、三ヶ根駅周辺を良くするために自分たちにできることを考える町民と、司会の川西氏(左) 里中央コミュニティホームにて

イベント
 いつ: 子どもが気軽に集まれる場所
 いつ: 平日の15~17時 (18時)
 どこで: 駅舎の2階
 誰が: 大人(退職したりの人)と小学生に
 何する: 宿題や大人の話を聞かせる
 本も読めるようにして

カフェ 食堂
 いつ: 食堂・カフェ(インスタ映え!!)
 いつ: 土日休み平日 AM 8:00~
 どこで: 駅
 誰が: 新しい組織(起業家!!)
 何する: 安全な食材を使ったカフェ
 AM 午間二者 AM 子育て中)を対象に

物販
 いつ: 物販+文化+ギョー()
 いつ: 適宜(1回/週)
 どこで: 駅+階段(通路)
 誰が: バスト運営者+管理団体(新しく設立する)
 何する: 物販+文化+ギョー(駅)を組み合わせたいと展開する
 (本日は、お祭り)

**三ヶ根駅構内・周辺で
 私たちこれできるかも!
 鉄道会社にも行政にも
 頼らないまちづくりとは?**

駅ナカ通学路を習い事教室に!
 テーマ: サンガネナイト de ノマナイト
 いつ: 年4回開催 土曜日(イベント重視)
 どこで: ローターや空室地は三ヶ根駅エリア全て
 誰が: 深溝エリアの飲食店、雑貨、カフェ等
 何する: 駅舎、倉庫、雑貨、ライブ、etc OK
 ※幸田駅前駅舎に駅舎3階以上あり
 ※1階はカフェ・コンビニ・お土産

安心安全の食材を使った食堂・カフェ
 テーマ: ライブハウス・カフェ
 いつ: 週末
 どこで: 駅ナカ / イベント会場に場所がある
 誰が: 地元のパバンド、小中学校の音楽クラブ
 何する: ワンマン制、出演者のスポンサー探しはタダ!
 地元で音楽活動がしたい方の発表の場

イベントや教室を開き、関連するものを売るお店
 テーマ: 子ども 物々交換所
 いつ: 月に1回
 どこで: 駅の中
 誰が: 小学生・中学生
 何する: 子どもは物々交換所
 物々交換する

子育て
 いつ: 赤ちゃんがいる世代が触れ合える場所
 いつ: 週1~2日 昼間午前中
 どこで: 空きスペース・空き地
 誰が: やりたいと言ってくれる人、参加者
 何する: 遊ぶ、話す、相談する
 ママさん、パパさん

サンガネナイト de ノマナイト
 活動紹介: 特定非営利活動法人 KOTA ポピンズ望月氏(左奥)

ライブハウス・カフェ
 活動紹介: ふこうず夏まつり実行委員会委員長蜂谷氏(左)

子ども物々交換所
 活動紹介: ふこうず夏まつり実行委員会委員長蜂谷氏(左)

赤ちゃんがいる世代が触れ合えるイベント
 活動紹介: ふこうず夏まつり実行委員会委員長蜂谷氏(左)

サンガネナイト de ノマナイト
 活動紹介: 特定非営利活動法人 KOTA ポピンズ望月氏(左奥)

ライブハウス・カフェ
 活動紹介: ふこうず夏まつり実行委員会委員長蜂谷氏(左)

子ども物々交換所
 活動紹介: ふこうず夏まつり実行委員会委員長蜂谷氏(左)

赤ちゃんがいる世代が触れ合えるイベント
 活動紹介: ふこうず夏まつり実行委員会委員長蜂谷氏(左)

自分たちで、できそうなことって何だろう?
 第2回「三ヶ根駅未来会議」が里中央コミュニティホームで開催された。昼と夜の二回、合わせて30名を超える人が集まった。主題は「住民主体のまちづくり」。司会を務める川西氏より、全国のまちづくり事例として「奈良県天理市柳本駅」、「東京都稲城市くらすくらス」、「愛知県岡崎市 Waganama House」の紹介があった。各事例の概要や運営方法の説明があったのち、グループごとに自分たちが三ヶ根駅周辺で出来ることは何かを議論した。「食堂・カフェ」、「物販」、「イベント」、「子育て」の4つの中からテーマを選択し、提案をしても良かった。上に掲載したものが今回参加者が考えた「自分たちにできること」の提案である。
 「食堂・カフェ」グループからの提案は、年配の方・子育て中のお母さんが運営する、安心安全の食材を使った食堂カフェや、地元のバンドや小中学校の音楽クラブが生演奏をするライブハウスカフェ。
 「物販」グループからは、ただ物を売るのでなく、イベントや教室を開き、関連するものを売ってお店や、子供達が使わなくなったものを物々交換できるお店の提案だ。
 「イベント」グループは、通学路である駅構内を小学生の習い事教室にする案や、ロータリーで深溝エリアの飲食店、雑貨屋を巻き込んで年数回、マルシェをやろうという案も出た。
 「子育て」グループからの提案は、赤ちゃんがいる家族が出会えて、情報交換ができる場であった。
 幸田町だけで使える電子マネーをつくり、幸田町で買い物をするの特典が付く仕組みを整えるなど、画期的な意見もあった。
 どのグループの提案も地域交流を促し、あったらいいな、いつかしてみたいな、と思える楽しいものだ。鉄道会社にも行政にも頼らないまちづくりとは何かを真剣に考えることができた未来会議となった。



**FACEBOOK 未来会議ページへ
 いいね! もお願いします**

幸田町で行われている地域活動とは?
 会議の後半は、幸田町で地域活動をされている方をゲストスピーカーとしてお招きし、活動紹介をしていただいた。
 屋の部は特定非営利活動法人 KOTA ポピンズ望月氏は、三ヶ根駅西口コミュニティホームで子どもの健全育成に係わる事業を行っている。メンバーは保育士をはじめとする子供のプロで構成されている。具体的には託児事業や、絵本の読み聞かせ・工作教室等の子供や親子向けのイベントを実施。深溝地区の子育てを支え、子供のための良い文化の創出を目指し、活動をされている。
 夜の部はふこうず夏まつり実行委員会委員長蜂谷氏。毎年深溝小学校で8月13日に行われる夏まつりの企画運営実施を行っている。町内にある商店・活動団体・小・中学校が夜の店の出店やイベントに出演して、夏まつりを盛り上げていく。地域の力で作り上げられた、活気のある楽しい夏祭りとなっている。
 自身が小学校のときに経験した楽しい夏まつりを、子供達に引き継いでいきたいという思いで活動をされている。
 幸田町においても素晴らしい地域活動をされていることが共有でき、未来会議は幕を閉じた。
 今回の未来会議で出された意見は、今後の計画の基準にするため、無記名で全て記録される。記録された意見は三ヶ根駅の改修計画を策定するのに活用される。参加が叶わなかった方からの意見も随時募集している。
 次回の未来会議は12月に実施予定。日程が決まり次第、回覧やsnsにて告知する予定。三ヶ根駅や幸田町のまちづくりに興味がある人は是非参加して自分の意見を声に出してほしい。

次回は12月に三ヶ根駅未来会議を実施予定! 日程・詳細は後日回覧・snsにてお知らせします